



舞鶴市史編さんだより



～田辺城跡三ノ丸武家屋敷苑池遺構の石材について～

舞鶴市市史編さん委員会 文化遺産部会 委員 小滝 篤夫

昨年、舞鶴市字北田辺の旧市民会館跡地において、(公益財団法人)京都府埋蔵文化財調査研究センターによる田辺城跡第34次発掘調査が実施されました。調査の結果、17世紀から19世紀にかけての三ノ丸武家屋敷地を区画する石組溝をはじめ、建物礎石や上水施設、苑池遺構などが検出されましたが、このたび、苑池遺構の使用石材を調査する機会を得たので紹介します。

調査した石材は苑池の東側に据えられていた長辺80cm、厚さが30cm程度の比較的平らな石材で、厚さ方向の辺の一つにほぼ直角な稜が見られます。数mm大の様々なサイズ

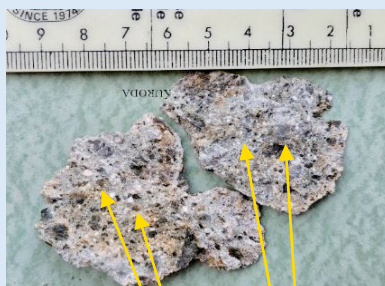


1 検出された苑池遺構 (矢印が調査した石材)

の黒色の岩片を多量に含んでいます。その形は短柱状、不規則な四角形、その角が取れたものなどさまざまです。微細な鉱物粒子が見られるものもあります。この岩片は頁岩の碎屑物と思われます。また、石英粒を多量に含んでいます。やや風化した長石の粒子もあります。マトリックスは明～暗い灰色です。まれに緑泥石と思われる緑色の鉱物粒子も見られます。以上の観察から、流紋岩ないしデイサイト質の火砕岩で、頁岩などの基盤岩を礫として取り込んだ火山礫凝灰岩と考えます。岩石薄片を作成して顕微鏡観察をした結果、石英、斜長石のほか頁岩の岩片が見られ、肉眼観察の結果が補強できました。この石材は、舞鶴市朝来中の田口神社の石灯籠の石材と酷似しています。神社の解説には、明治21年に朝来川を隔てた「南の小野山から曳きだし」とあることから、この灯籠石材の産地は神社南方の山であることは明らかで、栃尾、大波、朝来一帯に分布する「愛宕山流紋岩」(文献：地質調査所5万分の一地質図幅「舞鶴」説明書p.40)の分布域です。したがって、この庭石の産地も「愛宕山流紋岩」の分布域に求められるでしょう。



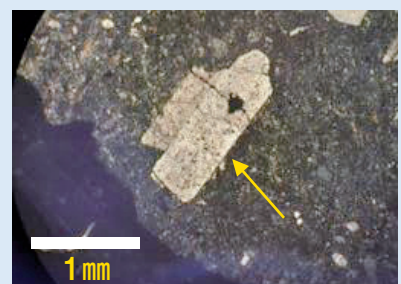
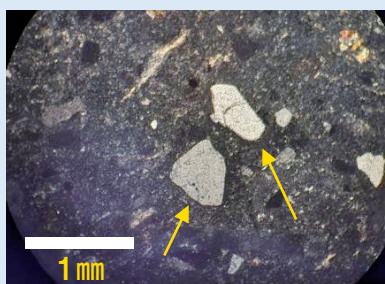
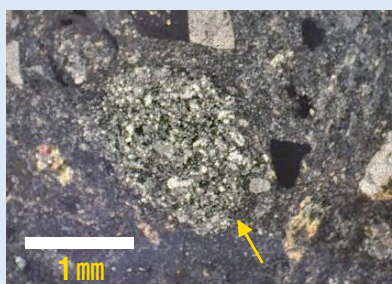
2 石材の近接写真 頁岩の岩片



斜長石 石英



3 田口神社鳥居前の石灯籠

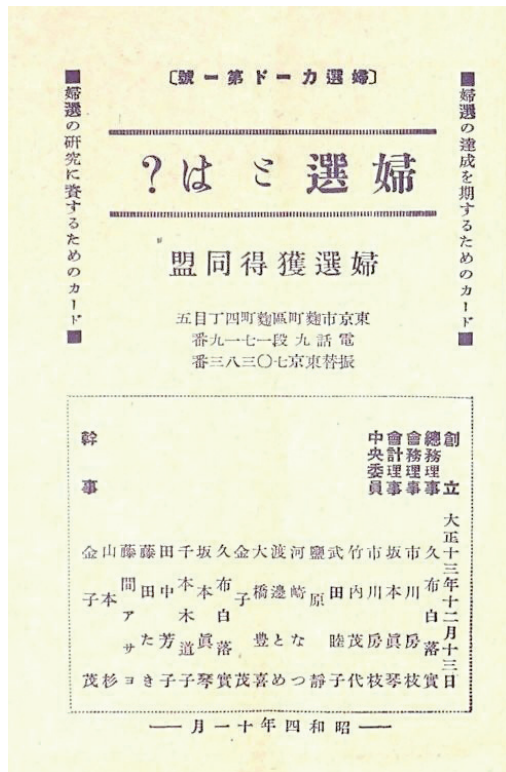


4 石材の偏光顕微鏡写真 (左から頁岩の岩片、石英、斜長石)

❖ 最近の古文書調査から ❖

～ 女性の参政権運動 ～

昨年は終戦80年の年でしたが、大正14年(1925)の男子普通選挙法100年の年でもありました。調査のなかで、戦前の女性の参政権運動に関するリーフレット2点(木船藤左エ門家文書箱11-28及び29)に出会いましたので、今回はこれを紹介します。



1点目は「婦選カード第一号、婦選とは？」(左写真)と題したもので、婦選獲得同盟が発行しました。婦選獲得同盟は大正13年(1924)12月に久布白落実、市川房枝らが中心となって創立されました。その翌年3月には衆議院の普通選挙法が成立し、25歳以上のすべての男子が選挙権をもつことになりましたが、女性は依然として認められていませんでした。昭和4年(1929)11月に発行されたこのリーフレットは、女性の参政権の必要性を訴え、婦選獲得同盟への入会を勧めるものです。

2点目は「婦選リーフレット第二号、総選挙に婦人は何をなすべきか」という表題がついています。発行は昭和5年2月です。この年の2月20日に第17回衆議院議員総選挙が迫っていたのです。とはいえ女性にはまだ選挙権がありません。女性に選挙権がない総選挙がせまるなか彼女らは何を訴えたのでしょうか。

「選挙法では、女の選挙運動は禁じられていますから、応援



演説とか推薦状以外には何もできませんけれども、自分の夫や、父や子、あるいは兄弟たちに向って、

どうか、決して買収されないで、正しい選挙をして下さい。

どうか、国民全体を含んだ世の中の為に働く、まじめな人を選んで下さい。と頼むことはできます。」と書いています(太字は原文のまま)。

投票のイメージ
(生成AIによる)

- 一、贈収賄、^{とくしよく}瀆職罪にて刑にふれた者は勿論、これが嫌疑をも受けたことのない清廉潔白の人
- 一、^{めかけ}妾などを蓄えていない品行方正の人
- 一、議会で野次つたり、暴行をしない人
- 一、遊廓、待合、芸者屋や政治を職業としていない人
- 一、党派の利益を主とせず、国民全般の利益幸福を主とする人
- 一、選挙にあまり金を使わない人
- 一、有権者を金銭やその他の利権情実や泣き落とし等で誘惑しない人
- 一、老人よりもなるべく若い元気に満ちた人
- 一、選挙されてから政党の鞍替をしない人
- 一、婦人や子供の利益の為に働く人

婦選リーフレット
第二号の内容

今ではちょっと考えられないような項目もありますが、通じるものも多いですね。(H.K)

舞鶴の記憶 [7]

～ わがさ 和傘作り道具の紹介 ～



右写真
和傘作りの様子

舞鶴は昔から「弁当忘れても傘忘れるな」と言われたほど雨の多いところです。近年は雨の降り方が変わってきていますが、それでも傘の出番が多い地域ではないでしょうか。

和傘といえば、今はナイロンやビニールのジャンプ傘が主流ですが、かつては和傘を使っていました。洋傘(蝙蝠:こうもり傘)が輸入されたのは明治になってからで、昭和28年(1953)頃にはナイロン傘、同33年にはビニール傘、同35年にはジャンプ傘が登場して現在に至っています。

和傘は竹で傘の骨をつくり、その骨に和紙を貼って油や漆や塗料を塗りますが、竹の下ごしらえや紙と竹を貼り付けるための糊の準備などいくつかの行程がありました。今回紹介する道具は、市内で昭和25年まで営業していた傘屋「船登屋」(魚屋)の田中重蔵氏(故人)から寄贈を受けたものです。

まず、材料となる竹や和紙、塗料、ロクロだが「ロクロ」(写真①)は傘の中心の開閉部分と、傘の先に使うものです。

次に、和傘づくりの道具ですが「エダケ(柄竹)タメ」(②)は竹の棒をまっすぐにする道具、「フシトリ(節取)カンナ」(③)は竹の節を削るカンナ、「マタベラ」(④)は親骨に紙を貼った後、紙と親骨を密着させしっかりと貼り付けるための道具、たくさん輪があるものは「スベコミ」(⑤)といわれる輪で、この輪で傘をしごき、上から見てきれいな円筒状にするものです。

これらの貴重な和傘作り道具類は舞鶴市郷土資料館で保存しています。(K.T)



①ロクロ



②エダケタメ



③フシトリ
カンナ



④マタベラ



⑤スベコミ



⑥ハケ

市史編さん事業の取組状況

市史編さんの取組を本格的に開始してから2年目となる令和7年度は、5つの専門部会における詳細な調査活動や市民との協働、市民への周知という視点からの事業を積極的に展開してきました。

具体的には、市史編さん委員会及び専門部会における会議の開催4回、専門部会における調査等の

実施26回(延べ50日)、市史編さんボランティア活動の実施24回、地域史講話の開催2回(参加者延べ121名)、市史編さんだよりの発行4回、歴史史料目録の発行1巻、京都府立大学との連携による古文書調査の実施(毎月適宜)などです。

特に、現地調査にあたりましては、関係施設はもとより、神社仏閣、事業所、地域住民の皆さまには多大なご協力をいただいております。改めましてお礼申し上げます。

来年度からは、いよいよ市史(分野編「引揚港」、資料編「考古・古代・中世」)を刊行する予定です。市史編さんに関わる委員41名を中心に、市民にわかりやすく手にとってもらえるような市史を、令和14年度まで毎年刊行するという目標に向けて、引き続き、関係団体と連携を図りながら、また、市史編さんボランティアや市民の皆さまのご支援をいただきながら、計画的に取組を進めてまいります。

市史編さん日誌

令和8年2月～6月(主な活動)

2月9日	文化遺産部会絵図・地図グループ定例研究会(上杉和央委員ほか委員3名)
2月20～23日	現代部会引揚港グループ資料調査(太田久元委員)
2月21日	第4回地域史講話開催 [講師] 市史編さん委員 児玉圭司氏(神戸大学大学院法学研究科教授)[演題] 「青葉山は誰のもの? 舞鶴の土地所有から近代をみる」参加者60名 写真①
3月4日	文化遺産部会絵図・地図グループ定例研究会(上杉和央委員ほか委員3名)
3月6・7日	近代部会資料調査(池田さなえ委員)
3月9・17日	現代部会引揚港グループ平和祈念展示資料館資料調査 (黒沢文貴委員ほか委員3名)
3月17日	文化遺産部会地形・地質グループ会議(藺田哲平委員ほか委員3名/資料編「地形・地質」の章立て・構成、執筆者、刊行時期など)
4月6日	現代部会第4回会議 (上杉和央委員ほか委員5名/通史編「平成の舞鶴」の構成、執筆者等)
4月8日	文化遺産部会絵図・地図グループ定例研究会(上杉和央委員ほか委員3名)
4月16日	考古・古代・中世部会会議 (広瀬邦彦委員ほか委員3名/資料編の章立て・構成・執筆者等)
5月12・13日	考古・古代・中世部会調査(石川登志雄委員/由良川の景観、瑞光寺、善福寺)
5月13日	文化遺産部会絵図・地図グループ定例研究会(上杉和央委員ほか委員3名)
5月18～20日	文化遺産部会地形・地質グループ現地調査 (藺田哲平委員ほか委員2名/上根舞鶴層など10ヶ所の露頭調査)
5月26日	文化遺産部会会議(吉野健一委員ほか委員5名/令和7年度文化遺産部会活動報告、資料編調査・刊行実施方針検討)
6月3日	絵図・地図グループ定例研究会(上杉和央委員ほか委員3名)
6月18日	市史編さん委員会会議(東昇委員長ほか委員5名/令和7年度部会活動報告、編さん実施計画及び執筆要項の一部改正ほか)
6月19・20日	文化遺産部会建造物グループ調査 (岸泰子委員ほか委員1名/白杉神社など8ヶ所の2次調査) 写真②
6月20日	田辺城下町商家古文書調査推進会議 (東委員ほか委員2名/会長選出、調査方針策定等)
6月27～29日	文化遺産部会彫刻グループ調査 (田中健一委員ほか委員2名/瑞光寺など5ヶ所の2次調査) 写真③
2月～6月	市史編さんボランティア活動(各月2日間実施/金村家・木船藤左門家ほか古文書調査、市史資料写真撮影等)



写真①



写真②



写真③

[発行] 舞鶴市
生涯学習部歴史文化まちづくり課
(市史編さん係)

〒624-0853 舞鶴市字南田辺1番地 舞鶴西総合会館2階
TEL: 0773-68-9556 FAX: 0773-77-1823
Eメール: history@city.maizuru.lg.jp